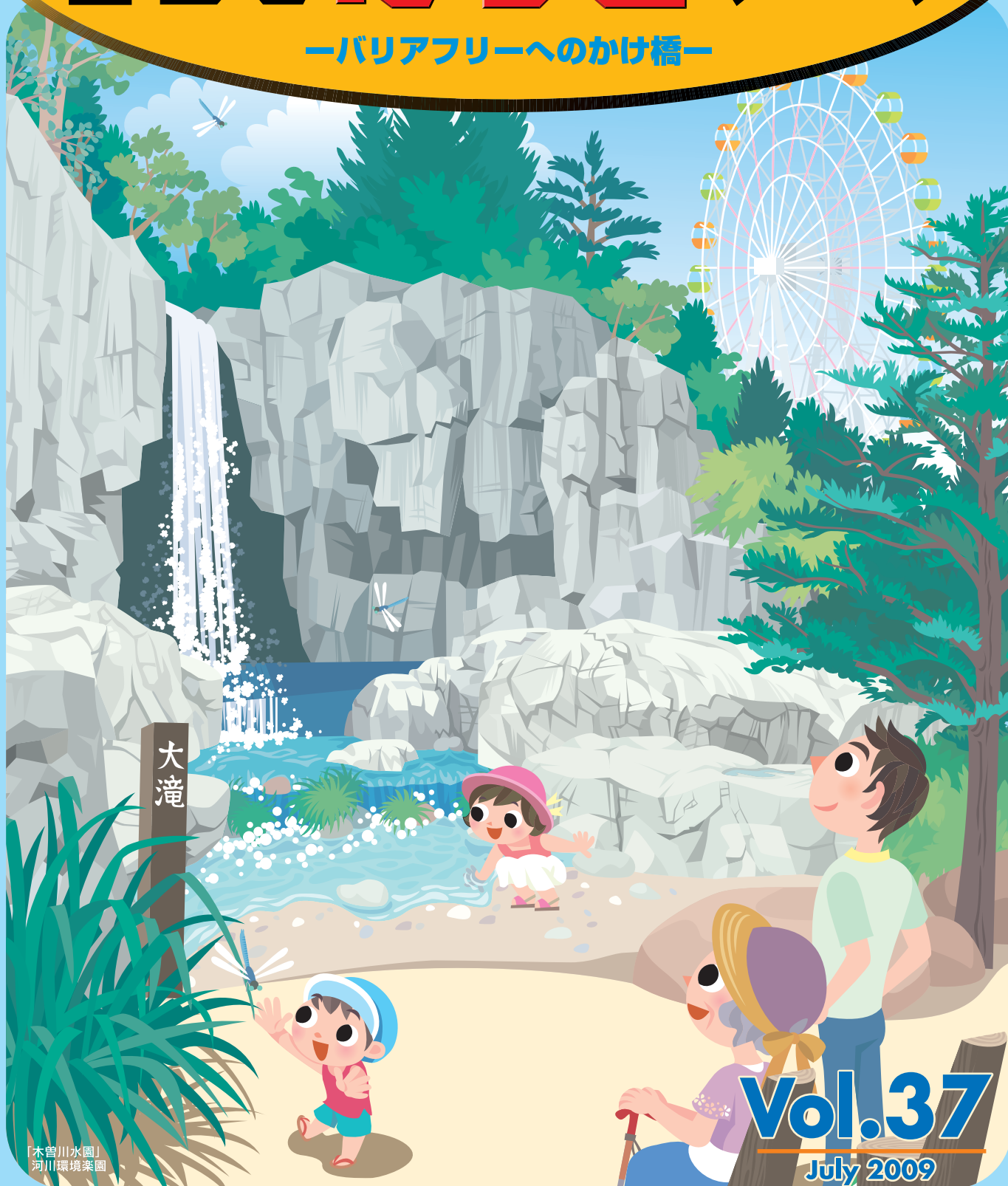




何かと出会って 新たな発見

暮らしほつとワーク

—バリアフリーへのかけ橋—



大滝

「木曾川水園」
河川環境楽園

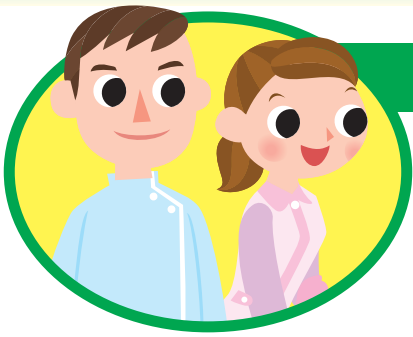
Vol.37

July 2009

今号の CONTENTS もくじ

リフトの普及とリフトリーダー養成研修、
モデル奨励金について P2~3
新ネタ発信 P4~5

製作・改造事例の紹介 P6
リサイクル相談事業部より P7
地域介護者教室(出前講座)開催レポート ... P8



施設等、介護の現場で働く方向け

リフトの普及と リフトリーダー養成研修、 モデル奨励金について



私たちの暮らしのなかで、乗り降り動作などの移乗動作は日常の生活動作の基礎となっているものです。移乗の動作には、移乗者が自分で動作をする場合と介護者が介護する場合とがあります。移乗者が自力で移乗不可能なときや、介護者が十分な介護が出来ないときにリフトが有効な移乗用具となります。ベルトや吊り具により移乗者を吊り上げて移乗させるものがほとんどです。

しかし、リフトに関しては、なかなか普及がすすまない福祉用具といわれています。理由としては、価格が高いことのほかスリングをつけるのに時間がかかるためリフトをわざわざ使わずに人手で移乗させてしまうこと等があります。そして、人手による移乗には介護者の負担の増加による腰痛などの問題があります。

厚生労働省の報告では、社会福祉施設における腰痛の発生状況として8割が人を取扱い対象とする腰痛で、とくに大半が移乗介護によるものでした。腰痛指針として、適切な介護設備、機器等の導入を図ることを定めているところですが、「介護職員の腰痛等健康調査に係わる福祉用具利用調査報告書」では、職員の7割に「現在腰痛がある」ことも明らかになったにもかかわらず、腰痛予防に効果があるリフトなどの福祉用具を利用した介護技術に対する認識が低いという実態も明らかになりました。

これは、リフトというハード的なものの導入に終始し、「なぜリフトを導入する必要があるのか等」導入意義が得られなかったことに原因があると考えられました。また、施設では、具体的にどの場面でどのように利用していくことが、介護労働者の腰痛予防に有効か、その際の導入方法や継続的な支援、事後の評価など「施設内でリフト利用をリードする人材」や「外部から専門的に導入支援してくれる人材」の不足も一因だったと考えられます。

今回、財団法人テクノエイド協会が、施設などでの集団の意見形成に方向づけをするオピニオンリーダーの育成を目指してリフトリーダー養成研修を企画しています。この研修では施設の介護主任や指導員を対象にリフト導入の意義と伝達、導入の評価、計画書の作成など具体的方法を学びます。

また、今回、厚生労働省職業安定局雇用政策課では、施設等の介護労働者の腰痛を予防し、介護労働者の雇用の安定を図るために「介護労働者設備等整備モデル奨励金」を発足させました*。

介護者の負担軽減のために必要な福祉用具の普及に向けて様々な取り組みがなされています。なごや福祉用具プラザでも、昨年来リフト普及のための取り組みを強化しているところです。リフト展示会の開催、移乗技術研修会などを通じてリフト利用の普及を図っています。リフトも床走行リフト、天井走行式リフト、固定リフト（入浴用・ベッド用）などの様々なリフトの展示をおこなっています。またリフトの利用は吊り具によって決まると言われています。身体機能、介護力、移乗場面、身体の大きさなどによって吊り具を決めていきます。シート型、脚分離、トイレ用、ベルト型など様々な種類、大きさの吊り具が試用できるように用意しております。移乗用具の相談などでも是非福祉用具プラザをご利用ください。

*介護労働者の作業負担軽減や腰痛対策のため、事業主が介護福祉機器の導入・運用した場合に助成されます。事前に介護福祉機器の導入計画の提出があり、厚生労働省の認定を受けて導入・運用した事業主が対象となります。支給額は介護福祉機器導入に係わる諸経費の1/2を助成します（上限250万円まで）。

参考：福祉用具専門相談員研修用テキスト（社団法人シルバーサービス振興会編集）
福祉用具支援論（財団法人テクノエイド協会）2006年9月

職場における腰痛発生状況の分析について 平成20年2月6日 厚生労働省労働基準局
介護職員の腰痛対策等健康問題に係わる福祉用具利用研究会 平成20年3月



床走行リフト(シート吊り具を使わないもの)



床走行リフトと脚分離(ハーフサイズ)吊り具で吊り上げている様子



入浴用リフトとシャワーキャリー型吊り具で浴槽内まで降ろした様子

なごや福祉用具プラザに展示中のリフト・吊り具



床走行式リフト

車輪がついているので居室内での移動が可能で、吊り下げ式リフトである。移乗機器なので他の部屋への移動には使用不可。



天井走行式リフト

天井に取り付けたレールに沿って、自力移乗が不可能な人をベルト状やシート状の吊り具を使用して、離れた場所に移動させるリフト。天井にリフトを取り付けるためには工事をとまう。



浴室用固定式リフト

浴室用専用リフトで、アームの中央部が自由に屈曲する特殊な構造により脱衣室から浴室内に移動することができる。



ベッド用固定式リフト

ベッド下部に脚部などを固定し、ベッドで吊り下げて車いすなどに移乗させるものである。ベッドに固定するので比較的場所はとらない。



シート型吊り具

一枚のシートでできている吊り具、車いす上での着脱は不可能。接触面積が広く安定し、快適である。



ハーフサイズ

ハイバック

脚分離型吊り具

車いす上での着脱が可能。ハーフサイズは肩までしかないため、頭部支持ができなければならない。股関節の支持力もリフト姿勢を保持できる筋力が必要。



トイレ用吊り具

脚分離型よりシート幅が狭いため着脱がより容易である。身体の狭い部分に力が集中するので股関節の支持力も必要。



ベルト型吊り具

2本のベルト。着脱がもっとも容易である。上下のベルトが脇や大腿部にかかるので、肩の関節や股関節の筋肉がリフト姿勢を保持できる筋力がなければならない。



新ネタ発信

※「特徴」の項目は、申請企業の説明文を転記しております。
※試用体験や製品に関するお問合せは、なごや福祉用具プラザのカウンターまでどうぞ。

なごや福祉用具プラザの新規展示品のご紹介です。
半年間の期間限定展示品と追加の常設展示品があります。
その他紹介出来なかった新製品、追加常設品などもございます。
是非一度福祉用具プラザまで足をお運びください。

期間限定展示品

平成21年3月から半年間の展示です。

ソフトケアルームシューズ

参考価格 2,520円

特徴 施設や病院内でご使用いただくのに最適なルームシューズです。ちょっとした段差や、滑りやすい素材の床での転倒を予防します。



平成21年6月から半年間の展示です。

活字文書読み上げ装置 Tellme (テルミー)

参考価格 99,800円

特徴 日本語約800文字が入る1個の音声コードを、読み取り装置テルミーに入れると、文章の中味が音声となって伝えられます。



平成21年6月から半年間の展示です。

トプロ エコ

参考価格 59,850円

特徴 操作性、安定性に優れた歩行補助車です。適切なホイールベースの長さやグリップ位置の設計で自然な姿勢で歩行できます。収納時、折りたたんだ状態で安定して自立します。



平成21年6月から半年間の展示です。

エルカップ

参考価格 1,200円

特徴 介護用や小さなお子様用を想定しており、コップの形状が斜めに傾いていることにより、コップを少し傾けるだけで楽に飲む事ができる。飲み物が口の脇からこぼれません。



追加常設品展示

ミクニマイティライトⅡ

参考価格 オープン価格

特徴 前輪ダブルキャスターにより、移動が容易。超低床ベッドにも使用可能。コンパクトで折りたたみ可能。4点幅広ハンガー採用。



楽匠Sシリーズ

参考価格 オープン価格

特徴 やさしい在宅ケアベッドできました。超低床20cm、最高床高65cm、足上げ2段切り替え。歩行グリップ付セーフティラウンドボード。垂直昇降等、JIS認証取得。



歩行補助器アルコーIS-X型

参考価格 86,000円

特徴 在宅で使いやすいコンパクト設計。ブレーキ、パーキングロック付。グリップは利用者に合わせて角度調整できます。簡単に折りたためます。



マウススティック

参考価格 5,250円

特徴 ポリエチレン製で適度な弾力性があり歯に負担が少ない。イオンの働きで製品表面に付着するカビや雑菌類の繁殖を抑えます。軽量です。



ウェイブートラックボールー

参考価格 37,800円

特徴 光学式のトラックボールです。左クリックを押した状態を保持するドラッグボタンを装備しています。左右クリック操作用のスイッチ接続可能です。



モーリフト ハンディーセーフ

参考価格 15,750円

特徴 モーリフトミニトランス、モーリフトボード等と併用すると移動・移乗介助がより安全に快適に行えます。握り手が6ヶ所あり、使用状況、用途に応じて使い分けができます。



骨伝導受話器 きくテル

参考価格 15,750円

特徴 自宅の電話器に受話器を繋げばすぐ使えます。軽～中度難聴者が通話するのに大変便利で効果的です。



電話ですよ! 電話着信音検知器

参考価格 19,800円

特徴 電話がかかってくると回転灯が回ります。音センサのピックアップを電話機に貼りつけ、送信機と回転灯(受信器)をそれぞれコンセントに差込むだけでOK。



福祉用具プラザでは、年2回の常設品展示の選定と毎月の新製品展示の選定をおこなっております。新しい機能や工夫がある福祉用具が増えております。是非、一度ご覧になってお確かめください。





製作・改造事例の紹介

プラザのご利用者さんへ道具を提供し、
ご本人の生活が豊かになった例を紹介します。

ご本人は運動ニューロンの障害によって両上肢機能障害(身体障害者手帳2級所持)のある方で、賃貸住宅に住んでおられます。自宅の鍵を鍵穴にさして回すことが難しくなってきたので、楽に鍵を回してドアを開けるようにしたいと要望されました。鍵を持つ面積が小さく指でつまむことも難しいため、その面積を大きくし、本人が持ちやすい鍵用の自助具と、ドアを開けやすくするためのドアノブを回す自助具を製作することにしました。

材料は身近で手に入ります。

材料リスト

- 木材 適宜
- ネジ 2か所(鍵用)
- ネジ 4か所(ドアノブ用)

材料費は合計600円

作り方

- 鍵用:木材を切断し、手に持ちやすいように形を整えます。そして、鍵をはさんでネジで固定します。
- ドアノブ用:木材を切断し、ドアノブ部分を丸くくり抜き、ネジを4方向取り付けます。

使い方

ご本人は左手で鍵を鍵穴にさし、左手に右手を添えながら、左に回すと開錠し、右に回すと閉錠します。それからドアノブ用自助具の長い柄を持ってドアを引くことができます。なお、これまでは、そのままの状態でも鍵を鍵穴へさすことができたのですが、障害の進行によって腕自体がドアノブの位置まで上がらなくなったため、現在は子供用の踏み台を利用し、その台の上に乗ってから鍵を回すようにご自身で工夫されています。これらの自助具によって、本人の鍵操作やドアを開ける際の不安がなくなり、外出も気楽にできるとうれしそうに話してくださいました。



鍵用自助具



鍵を回す様子(ドアノブ用自助具あり)

なごや福祉用具プラザでは福祉用具の製作・改造を通じて、ご本人やご家族等の生活を豊かにするお手伝いをいたします。お気軽にご相談ください。

リサイクル 相談事業部より

バリアフリー情報などをご案内

夏休みや秋の大型連休などで旅行したいけれど…高齢でパッケージツアーについていけないかも…車いすや杖を利用して、行き先の設備に不安…、そんなお悩みを解決してくれる旅の相談所をご案内します。

旅への思いを馳せる時から
楽しみにしていただけるようお伺いいたします

こちらから伺う旅行会社 **トラベルパレット**

- 〒453-0021
名古屋市中村区松原町1-24 COMBI本陣
ビジネス支援施設棟S204
- TEL:052-526-8008 fax:052-482-8883
- (原則) 10~20時・年中無休
- 愛知県知事登録旅行業 第3-1214号
担当:桜井憲子
(訪問等で不在のことがございますので当日でもご連絡いただくとありがたいです)

おひとりおひとりのご希望に心を込めて、ご提案しています。介護されているご家族の方や障害のある方、子育て真っ最中の方など、宿泊、貸切バスはもとより、オーダーメイドの一人旅から少人数・グループ団体の手配等承ります。ご相談、お問い合わせは、ご都合の良い場所までお伺いします。(ご自宅・お気に入りのカフェ・お勤め先など)



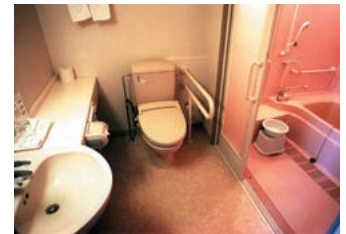
全ての人に同じ旅の感動を!
人にやさしい旅づくりがモットーです

(株) **チットラベルセンター・ハートTOハート**

- 〒460-0003
名古屋市中区錦1-20-19 名神ビル6階
- TEL:052-222-7611 fax:052-212-2778
愛知、岐阜、三重以外にお住まいの方
TEL: 0120-35-2502
- 月~金 9:30~18:30 土日祝休
- 観光庁長官登録旅行業第735号

車いすをお使いの方、視聴覚に障害のある方、高齢等により歩行に自信のない方、介護が必要な方などのご相談を歓迎しています。

「できない」を「できる」に! お手伝いします。旅の感動、楽しさに加えて、「自信」というおみやげも持ち帰れます。



AJUリサイクル相談事業部
ではリサイクル相談他、福祉用具の販売とレンタル、様々な福祉情報を提供しています。
お気軽におたずね下さい。

福祉用具リサイクル相談事業部は…なごや福祉用具プラザ内にあります。

社会福祉法人
**AJU自立の家
自立生活情報センター
リサイクル相談事業部**

昭和区御器所通3-12-1
御器所ステーションビル3F なごや福祉用具プラザ内
TEL052-851-0059 FAX052-851-0159
営業時間：火曜日から日曜日 10:00~18:00
休業日：月曜日、祝休日、年末年始(月曜日が祝休日の場合、火曜日も休み)
【E-mail】recyclesodan@aju-cil.com



**訪問介護サービスは
シルバー
人材センターに
おまかせください!!**

高齢者ならではの知恵と経験を生かしてきめ細かなホームヘルプサービスを提供いたします。
名古屋市内全域で1ヶ月に約380名の方にご利用いただいています。(平成19年度実績 月平均)

お伺いするヘルパーは、おおむね60歳以上で、ホームヘルパー2級等の資格を持った会員です。
愛知県の指定を受けて訪問介護事業と介護予防訪問介護事業をおこなっております。

お問い合わせ先 名古屋市内4カ所の支部までお気軽にお電話ください。

お住まいの区	担当	電話	FAX
昭和区・瑞穂区 緑区・天白区	東部支部	842-4694	842-4894
北区・西区 中村区・中区	西部支部	524-2181	532-6058
熱田区・中川区 港区・南区	南部支部	671-3161	683-1614
千種区・東区 守山区・名東区	北部支部	932-2801	931-9513

お電話受付：月~金曜日の9時から17時 ※居宅介護支援事業(ケアプラン作成)は
おこなっておりません。
名古屋シルバー人材センター訪問介護事業所 (愛知県知事指定第2370700276号)
名古屋市中区御器所通3丁目12番地の1 TEL842-4688 FAX842-4894



地域介護者教室【出前講座】開催レポート

昨年より地域介護者の方への介護相談・介護者相互の交流・新しい福祉情報の広報を目的に地域介護者教室が開始になり、地域介護者の皆様に色々なテーマの出前講座の展開をしています。

■守山区



「認知症ってなあに」

日時：
平成21年6月7日(日)
於：ケアハウスふれあい

日曜日の早い時間帯でしたが22名の参加がありました。

講師の先生により【認知症ってなあに】という題材で認知症になる原因や家族が認知症になった時の接し方などを話していただきました。認知症は病気であるということを知り、しっかり認識することや、接する側の気持ちの余裕が必要との話を聞かれている皆さんはとても真剣で、認知症についての関心の深さがうかがえ、講座後も皆さん積極的に質問をされていました。

またアンケートには、またこのような講座をお願いしたいと、希望もありみなさんわきあい合いとした雰囲気の中で講座を終わることができました。

プラザでは、このような各地域のニーズに沿った講座を展開しており今後も続けていきます。各地域を回り、今一番何が知りたいのか、何に困っているのか、等を把握しながらそれを取り入れた講座を提供していきます。

■千種区



「笑いの効果～大きな声で笑いましょう～」

日時：
平成21年6月12日(金)
於：都福社会館

6月12日、毎月出前講座を展開させて頂いている千種区の都福社会館で【笑いの効果～大きな声で笑いましょう～】の講座を28名の皆様に開催しました。演芸プランナーより笑いの絶えない楽しいお話をしていただき、皆さんリフレッシュしていただけたと思います。

こちらの施設では、毎月の開催で60歳以上の元気なシニアの方々が楽しくイキイキと講座に参加されています。講座により顔ぶれも変わり、時には真剣に頭や手先を使い、時には歌ったり、大きな声で笑ったりシニアライフを満喫されています。「ず～っと、うちの中にこもっていたのに…外出の機会が増えました」「毎回、講座を楽しみに介護生活、頑張ります」との言葉も頂いています。施設にお邪魔できればと思っていますのでよろしくお願いします。

出前講座は、家族、支援者の方を対象としています。介護についての知識や技術の向上、介護者同士の交流を目的とした講座です。お問合せ申込は、なごや福祉用具プラザまで



社会福祉法人 名古屋市総合リハビリテーション事業団

なごや福祉用具プラザ

〒466-0015 名古屋市昭和区御器所通3丁目12-1
御器所ステーションビル3F

TEL (052)851-0051

FAX (052)851-0056

電子メール nrc4@japan-net.ne.jp

ホームページ <http://www.japan-net.ne.jp/~nrc/plaza>

●営業時間/AM10:00～PM6:00

●営業日/火曜日～日曜日

●休業日/月曜日・祝休日・年末年始(翌日も休業になります)



この広報誌は再生紙
(古紙パルプ配合率100%、白色度83%)を
使用しています

暮らしほっとワーク第37号

発行日/平成21年7月15日

編集・発行/なごや福祉用具プラザ

